

進化する糖尿病治療

昭和大学病院 糖尿病・代謝・内分泌内科
井上 彩

糖尿病の薬は色々な種類があります

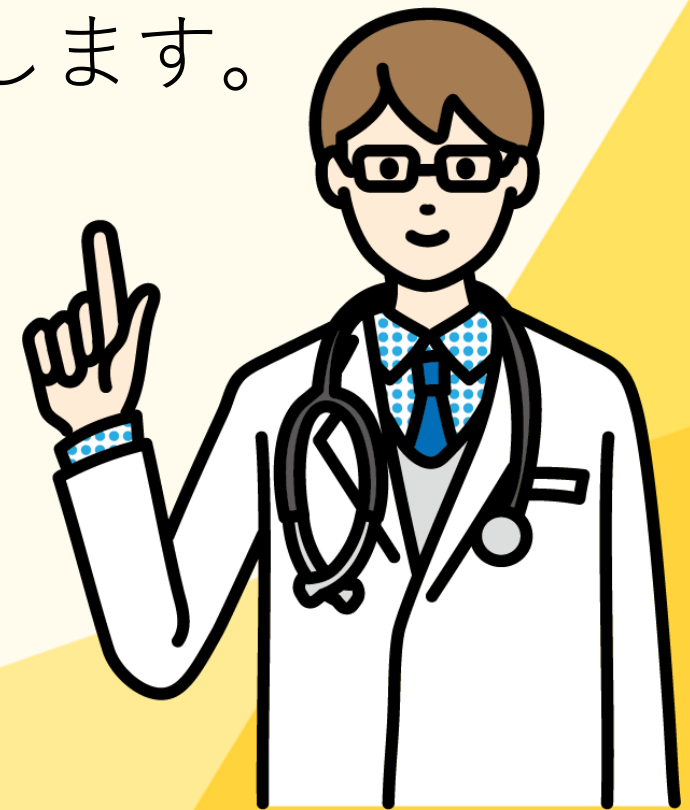
飲み薬

- ・ ビグアナイド薬
- ・ DPP-4阻害薬
- ・ SGLT-2阻害薬
- ・ GLP-1受容体作動薬
- ・ SU薬
- ・ グリニド薬
- ・ α -グルコシダーゼ阻害薬
- ・ チアゾリジン薬
- ・ イメグリミン

注射薬

- ・ インスリン
- ・ GLP-1受容体作動薬
- ・ GIP/GLP-1受容体作動薬

今回は比較的新しく登場した、
SGLT-2阻害薬、GLP-1受容体作動薬、
GIP/GLP-1受容体作動薬についてご紹介します。



SGLT-2阻害薬

- 一般名：エンパグリフロジン、カナグリフロジン、ダパグリフロジン、トホグリフロジン等
- 尿へ糖を排泄することで血糖値を下げる薬です。
- 体重減少効果や、心臓や腎臓へも良い影響があることが分かっています。
- 脱水、尿路感染症などのリスクが上がるため注意が必要です。

GLP-1受容体作動薬

- 一般名：デュラグルチド、セマグルチド、リラグルチド等
- 膵臓にあるGLP-1受容体に働きかけて、インスリンの分泌を促進する薬です。
- 胃排泄遅延・食欲抑制効果により体重への影響も期待できます。
- 1日1回の注射薬だけでなく、週1回の注射薬や1日1回の飲み薬も登場しています。
- 吐き気・下痢・便秘などの消化管症状が出る場合があります。

GIP/GLP-1受容体作動薬

- 一般名：チルゼパチド
- GLP-1受容体だけでなくGIP受容体にも作用して、インスリンの分泌を促進する薬です。
- 胃排泄遅延・食欲抑制効果により体重への影響も期待できます。
- 週に1回注射する薬です。
- 吐き気・下痢・便秘などの消化器症状が出ることがあります。

最近のトピック

週1回製剤のインスリンとして
インスリン イコデクが開発されたと発表されました。
使用できるようになったらさらに治療の選択肢が
広がることが期待されます。



最後に

- 糖尿病の治療薬は、内服薬・注射薬ともに多様化してきました。
- 自分の病態や生活スタイルにあった治療薬を選択することが大切です。
- 薬について分からないことや困ったことがあれば、医療スタッフに相談してください。